

業務用ガス機器の開発・製造・品質検査で高い技術を誇る

株式会社土谷金属

大阪
21

業務用ガスコック

Company Profile

株式会社土谷金属

住 所／〒581-0081
八尾市南本町8-4-45

創 業／昭和51年2月

設 立／平成元年2月

資本金／1,000万円

従業員／10名

T E L／072-994-3653

F A X／072-994-3873

■主な事業内容

業務用ガスコック、バルブ、ガスバーナー、その他ガス厨房部品の製造・販売

■主な取引先

ガス会社、厨房機器製造会社等



ボールバルブ

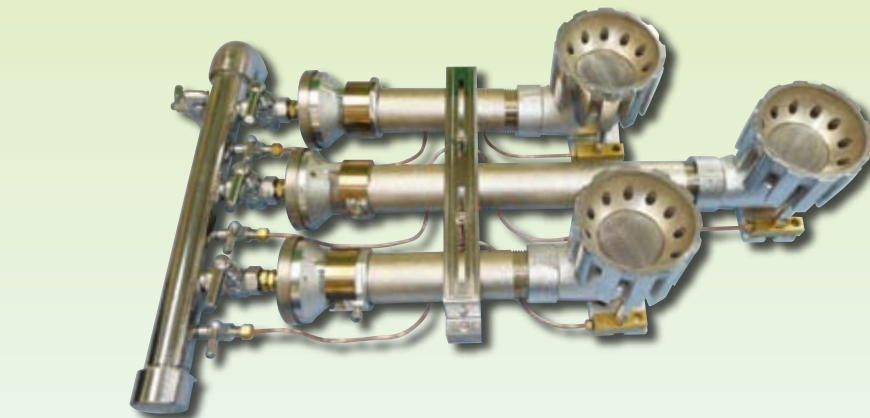
当社のセールスポイント

安全で本物の製品をお届けするものづくりが当社の信条です。



代表取締役 土谷 育三さん
代表取締役 土谷 文秀さん

開発・設計・製造・検査まで一貫した業務を行う当社は、24時間無人運転の設備を整えており、特にマシンニング・CNC旋盤を使った切削加工で最先端の技術を有しています。創業以来、社会から必要とされる企業をめざし、商品開発や新分野開拓に力を注いでいます。今後も地域の皆様に愛される企業になれるよう努力していきます。



ライジンLBバーナー(三連式)

土谷社長はその後、やはり良質の製品が少ない業務用ガスコックの開発に取り組み、さらにそのほかのガス機器の製造にも着手。現在はガスバーナーやハンドバーナーなど、さまざまな業務用ガス機器を開発・製造する。同社製品に付けられている「ロンビ」印の商標は、ロング&ビューティフルの意味。長く美しい企業でありたいという土谷社長の願いがこめられている。

土谷金属の創業は、業務用フライヤーに装てんするボールバルブの開発がきっかけだった。かつて金属製品の営業をしていた土谷社長が、フライヤーのボールバルブに良質の製品がないことを知り、高温に強く、揚げカスを排出しやすいボールバルブを作ろうと自ら開発し、同社を興したのだ。

フライヤーのバルブから
さまざまなガス機器へ
展開

日本で最初の
JIA表示認可工場

同社は平成元年に国内メーカーで初めてJIA(日本ガス機器検査協会)の認可を受けた。従来、業務用ガスコックについては出荷前の品質検査が義務づけられていなかったのだが、同社が業界の先鞭をつけて、JIAマーク表示許可工場の第1号となったのだ。以来、同社は製品のすべてについて、JIA規定の約10倍のガス圧力で出荷前検査を行っている。「ガスは命に関わる事故も起こり得ますから、当社は検査義務のなかった時期から厳しい数値で検査をしています」と土谷社長は語る。

料理の幅を広げる
さまざまな製品を開発

同社の主力製品のひとつが「ライジンLBバーナー」だ。バーナー自体が空気を吸引するしくみで、1万キロカロリーの強い火力を出すことができる。大量の湯を沸かすうど

ん・ラーメン店などに最適のバーナーだ。そして現在開発中で完成間近い製品が、1万2000キロカロリーの火力を持つハンドバーナー。現在販売しているハンドバーナーは3000キロカロリーの火力だが、4倍の火力になれば用途が広がり、さらに調理以外にも活用できる可能性がある。そのほか同社では、オーダーメイドの厨房機器の設計・製造にも携わる。

近年、ガス機器は電気機器との競争が激しくなっている。「将来ガスがなくなることはないでしょうから、最後の1社に生き残れたらいいと思っています。そのためにも、技術に自信の持てる製品づくりを進めていきます」と土谷社長。創業以来厳しい基準を設けて製品開発に取り組み続ける、同社の誠実な姿勢がうかがえる言葉だ。



ハンドバーナー(右)、点火棒(左)